

平成26年度
事業報告

社会福祉法人 ぬくもり福祉会

I . 法人本部

《総括》

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され2年が経過した。法の変更による経営への影響はあまりなかったと思われるが、法の施行後3年を目途として細部について検討することとされていることから、その1年後を見据え、対応できる組織づくりに着手していきたい。

25年度は、利用者の重度・高齢化に伴う対応として、ぬくもりの郷を開所したが、さらなる待機者対策として、早くも26年度にぬくもりの郷グループホームの増築に着手した。今後予想されるニーズを的確に把握し、限りある資源を有効活用できるよう中長期事業計画に反映させていきたい。

重点目標であった「やる気のある人材の確保と育成」として、福祉・介護職員処遇改善加算を26年度も引き続き申請し、職員の処遇向上に努めた。職員の役割と職責の自覚、能力向上など、キャリアパスに対応した人事考課制度を導入していることで、意欲を引き出せる評価を行うことができ、26年度も複数の職員が国家資格を取得することができた。

しかしながら、26年度は正職員全体の15%に当たる7名の職員が退職した。うち6名が勤続5年未満の若手職員である。妊娠等のやむを得ない事由は見受けられたが、他については明確な事由がないケースが多く、本人と仕事内容のミスマッチが推測される。

結果として、職員構成が勤続3年未満の職員が17名、5年未満の職員が26名と、実に56%の職員が勤続5年未満の職員となってしまった。経験不足＝サービスの質の低下とは必ずしもならないが、ベテラン職員等によるOJT研修を中心としながら、若手職員のキャリア形成を図っていきたい。

この点について、働きやすさの要素のひとつ、有休のとりやすさの観点から考察を試みる。勤続5年未満の職員の平均有休取得日数は10.7日、取得率は85%（厚生労働省25年度資料＜医療福祉部門＞は平均有休付与日数14.9日、取得日数6.9日、取得率46.1%）となっており、若手職員が仕事とプライベートを上手に両立させていることがうかがえるため、有休の取りにくさが直接の退職理由になったとは考えにくい。

なお、職員全体では、平均付与日数は15.9日、取得日数は11.1日、取得率は69.6%といずれも同業種の平均を上回っている。引き続き、働きやすい環境作りと現在いる職員定着と育成に努めたい。今後は、早期離職を防ぐ意味合いでも、「何のために誰を採る」を明確にし、採用時の取り組みを強化していきたい。

法人の財政状況は、当期は前年比118%の約5,430万円の繰越、累計約3億5,280万円の繰越と全体的には安定しているが、利用者の定員充足や稼働率に事業所ごとのばらつきが見られる。利用者の安定的な確保による経営の安定化が今後の課題である。

職員においては「施設運営」から「法人経営」への変革の意識も浸透させ、法人には事業継続と公益な取り組みに充てる資金が必要との理解を求めていく。今後は、「公益性な取り組みの一層の推進」により社会福祉法人としての存在意義を果たしていきたい。

決算内容としては前年度と比較して、本業の収支を示す事業活動収支差額は128%と着実に増加しており、プラスを確保している。今後は、地域の福祉ニーズに対応するため、積極的に施設整備計画、専門性の高い人材の育成と確保を進める必要があるため、キャッシュフロー経営を前提として進め、財務体質の健全化を図っていく。

今後とも、利用者・地域に選ばれる社会福祉法人として、時代に即応した福祉サービスを実施すべく、中長期計画に基づき、新規事業の展開や経営改革に取り組んでいきたい。

1. 運営事業

(1) 第二種社会福祉事業

- ア. 生活介護事業所ぬくもりの家（定員40名）
- イ. 生活介護事業・就労継続支援B型事業所ぬくもりワークス（定員60名）
- ウ. 生活介護事業所まるくてワークス（定員60名）
- エ. 共同生活援助事業所アットホーム（定員18名）
- オ. 相談支援事業（ぬくもりの家・ぬくもりワークス・まるくてワークス）
- カ. 生活介護事業所ぬくもりの郷（定員20名）
共同生活援助事業所ぬくもりの郷（定員13名）
短期入所事業所ぬくもりの郷（定員4名）

(2) 公益事業

- ア. 地域生活支援事業
日中一時支援事業（ぬくもりの家・ぬくもりワークス・まるくてワークス・ぬくもりの郷）

2. 役員会の開催状況

(1) 第1回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成26年5月29日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事2名
- イ. 評議員会 平成26年5月29日（木）ぬくもりの郷
出席評議員12名・監事2名

(2) 第2回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成26年12月4日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事1名
- イ. 評議員会 平成26年12月4日（木）ぬくもりの郷
出席評議員10名・監事1名

(2) 第3回理事会

- ア. 理事会 平成27年3月5日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事2名

(4) 第4回理事会・評議員会

- ア. 理事会 平成27年3月26日（木）ぬくもりの郷
出席理事6名・監事2名
- イ. 評議員会 平成27年3月26日（木）ぬくもりの郷
出席評議員12名・監事2名

- (5) 監査会 平成26年5月15日（木）16日（金）ぬくもりの郷会議室
出席監事2名・立会理事2名（理事長・鈴木理事）
施設長・事務局

3. リスクマネジメントの状況（延べ件数）

| | ぬくもりの家 | ぬくもりワークス | まるくてワークス | アットホーム | ぬくもりの郷 | 計 |
|----------|--------|----------|----------|--------|--------|----|
| ヒヤリハット事例 | 6 | 3 | 12 | 1 | 2 | 24 |
| 事故報告 | 2 | 1 | 1 | 0 | 8 | 12 |
| 苦情報告 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| 虐待事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

4. 第三者評価の受審状況

受審は見送ったが、ぬくもりの家、ぬくもりワークス、まるくてワークス、アットホーム、ぬくもりの郷はそれぞれ自己評価を行い、前年度の受審結果を踏まえた改善に努めた。

5. 職員研修の実施状況

法人主催の研修として、全職員を対象とし、年2回外部講師を招いて、てんかんについての研修を行った。また、階層別研修として、中小企業診断士を講師に招いて、問題解決について初級、中級、上級に分けて行った。

6. 会報の発行

法人の会報を発刊し、施設の内容などの紹介を行い、地域住民の理解を深めるよう努めた。

(1) 発行回数 年2回

(2) 発行部数 1, 100部

(3) 配布先 保護者・手をつなぐ親の会会員・福祉関係施設・行政機関
ボランティア団体・北明治連合町内会・赤松町内会・池浦町内会
学校等

7. 職員の状況（正規職員）

(1) 採用と退職状況（人）

| | 26年度末の職員数 | 26年度採用／退職 | | 25年度採用／退職 | |
|---|-----------|-----------|---|-----------|---|
| 男 | 24 | 0 | 3 | 2 | 1 |
| 女 | 19 | 3 | 4 | 3 | 0 |
| 計 | 43 | 3 | 7 | 5 | 1 |

(2) 有給休暇取得状況

| 勤続年数 | -1年 | 2-3年 | 4-5年 | 6-10年 | 11-15年 | 16-20年 | 20年- | 平均 |
|---------|------|------|------|-------|--------|--------|------|------|
| 取得率(%) | 78.1 | 77.7 | 91.5 | 62.2 | 60.0 | 75.0 | 50.5 | 69.6 |
| 取得日数(日) | 8.3 | 9.1 | 12.5 | 11.5 | 12.0 | 15.0 | 10.1 | 11.1 |

8. 借入金の状況

(1) 福祉医療機構からの借入状況（平成27年3月31日現在） 単位：円

| 借入目的 | 借入年度 | 借入金額 | 平成26年度償還状況 | 借入残高 |
|--------------|------|-------------|-------------------------|------------|
| まるくてワークス施設整備 | 17年 | 30,000,000 | 元金1,500,000 利息 241,500 | 16,500,000 |
| ぬくもりの郷施設整備 | 24年 | 80,000,000 | 元金4,032,000 利息 930,300 | 72,240,000 |
| 計 | | 110,000,000 | 元金5,532,000 利息1,171,800 | 88,740,000 |

(2) 借入金の償還財源の状況

単位：円

| 区分 | 金額 | 内 訳 |
|---------------|-----------|-------------------------|
| 元利償還金(平成26年度) | 6,703,800 | 元金5,532,000 利息1,171,800 |
| 財 源 | | |
| 自己資金 | 4,209,800 | 本部会計 |
| 補助金 | 2,494,000 | 愛知県（民間社会福祉施設運営費補助金） |
| 平成27年度償還予定額 | 6,632,400 | 元金5,532,000 利息1,100,400 |

9. 寄付金の状況

(1) 事業活動による収支の部

| | 本部 | ぬくもりの家 | ぬくもりワークス | まるくてワークス | アットホーム | ぬくもりの郷 |
|--------------|------------|---------|----------|----------|--------|--------|
| ぬくもりの家保護者会 | 2,321,600 | 39,002 | | | | |
| ぬくもりワークス保護者会 | 2,616,600 | | | | | |
| まるくてワークス保護者会 | 2,826,000 | | | 10,000 | | |
| ぬくもりの郷保護者会 | 6,345,000 | | | | | |
| 保護者 | 2,060,000 | | | | | |
| 企業 | 15,548 | 8,386 | 20,000 | | | |
| 団体 | | 10,000 | 30,000 | | | |
| 個人 | 5,006 | 50,000 | 23,717 | 20,000 | | |
| 計（円） | 16,188,554 | 107,388 | 73,717 | 30,000 | 0 | 0 |

(2) 施設整備等による収支の部

| | 本部 | ぬくもりの家 | ぬくもりワークス | まるくてワークス | アットホーム | ぬくもりの郷 |
|--------------|----|--------|----------|----------|--------|---------|
| 中央競馬馬主社会福祉財団 | | | | | | 980,000 |
| 株式会社インダテクノ | | | 246,240 | | | |
| 計（円） | 0 | 0 | 246,240 | 0 | 0 | 980,000 |

※スズキ スペーシア（車イス移送車）・CASIO GE5000（カラープリンタ）

II. ぬくもりの家

《総括》

法人理念のもと、利用者さんの権利擁護を土台に支援を行ってきた。26年度は事業計画において「小グループでの支援プログラムも実践」と明記して集団支援の中でも「個別支援」を念頭に置いた。このことが利用者さんの情緒の安定につながり意思決定支援にも直結すると考えたからである。実際、利用者さんの情緒も前年と比べると安定してきた。このことは頻回に行われるクラスごとミーティングにおいてほとんどのスタッフが「利用者さんの情緒が安定してきた」と明言していることから判断している。

ただ、支援の方向性が全体から個別へ移行し、このことが重要な意思決定支援であるという意図が保護者にきちんと伝わっていないと思われる場面が何度かあった。今後、個別面談や保護者会、保護者向け通信を通じて繰り返し伝えていく必要がある。

《生活介護事業》

1. 重点目標に対する総括

(1) 権利擁護意識の向上・・・虐待防止をテーマにした研修に参加した。ボランティアや見学に来られた方々に対して権利擁護の考え方を伝えた。利用者の意向を尊重するべく個別面談時やアンケートによりニーズを把握し、プログラムや行事に反映させた。

(2) 円滑な運営体制の構築・・・作業種目や活動の種類を増やすことを掲げたが、作業種目については増やすことはできなかった。また、利用者の満足度を高めることを目指したがその検証が行われず来期への課題となった。

町内会やボランティアネット北明治の会とは常に関わりをもちながら交流を深めることが出来た。

(3) 人材の育成・支援員のスキルアップ・・・市外他事業と支援員のスキルアップのためお互い「出稽古」を行いスキルアップを図った。また、非常勤職員もなるべく外部研修に参加できる機会を持った。

積極的に実習生を受け入れ、実習生の指導を支援者自身の振り返りにつなげた。

会議におけるインシデントプロセス法の導入を掲げたが、徹底されず奏功したとはいえない。来期への課題となった。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数(人) | 男性 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 257 |
| | 女性 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 240 |
| | 計 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 497 |
| 出席率(%) | | 91.8 | 91.7 | 92.4 | 91.8 | 91.5 | 92.8 | 88.9 | 89.0 | 88.3 | 87.4 | 89.4 | 87.4 | 90.2 |

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 年間行事

| 月 | 日 | 施設行事 | | | | |
|-----|----|--|------|------|------|--------|
| 4 | 1 | 新利用者歓迎式 | | | | |
| | 28 | 健康診断 | | | | |
| 5 | 9 | ぬくもりんピック | | | | |
| 6 | 5 | いちご狩り | | | | |
| | 13 | 嘱託医健診（歯科） 芋の苗植え→雨天中止 | | | | |
| 7 | 5 | プラネタリウム | | | | |
| 8 | 29 | 納涼夏祭り | | | | |
| 9 | 9 | 嘱託医検診（内科） | | | | |
| | 27 | 芋掘り交流会 | | | | |
| 10 | | 個別面談 | | | | |
| | 19 | 北明治レクリエーション大会 宿泊旅行（知多半島方面）23～24、30～31 | | | | |
| 11 | 27 | ぬくぬくふれあいコンサート | | | | |
| | | 宿泊旅行（知多半島方面）6～7、13～14 | | | | |
| 12 | 5 | クリスマス会 | | | | |
| 1 | 7 | 初詣 | | | | |
| | 15 | 成人式 | | | | |
| | 16 | 新年会 | | | | |
| 2 | 3 | 豆まき | | | | |
| | 6 | プラネタリウム | | | | |
| 3 | 2 | 嘱託医検診（内科） | | | | |
| | 6 | お楽しみ会（ボウリング・カラオケ大会） | | | | |
| 月行事 | | 誕生日会 | 外食実習 | 合同レク | 音楽療法 | 合同カラオケ |
| | | サークル活動 | 体重測定 | | | |

4. ボランティア受入状況（延べ人）

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 区 分 | 計 |
|--------|----|---------|----|------|-----|
| 一 般 | 36 | 大学・専門学校 | 20 | 社 協 | 6 |
| 北明治ネット | 57 | 岡崎家裁 | 0 | 民生委員 | 24 |
| J A青年部 | 13 | 高 校 生 | 7 | | |
| 音楽協会 | 5 | 中 学 生 | 39 | 合 計 | 193 |

5. 実習生受入状況（延べ人）

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 区 分 | 計 |
|-------|----|-------|-----|---------|-----|
| 中 学 生 | 15 | 大 学 生 | 108 | 学 校 教 諭 | 0 |
| 養護学校 | 7 | 高 校 生 | 48 | 合 計 | 273 |

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

(1) 日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|
| 利用者数 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |

《相談支援事業》

1. 事業内容

(1) 安城市の指定を受けて特定指定相談支援を行った。受給者証更新時や区分更新時に本人や家族、市の調査員、事業所職員と同席してサービス等利用計画を作成した。また定期的にモニタリングをおこなった。

2. 年間サービス等利用計画事業実績

| 事業所名 | 法人内 | 法人外 | | | 計 |
|------|-----|-----|--|--|----|
| 利用者数 | 60 | 24 | | | 84 |

Ⅲ. むくもりワークス

《総括》

生産活動を主体に「働く場」として安定して働き続けられるよう、また、働く力を伸ばしていけるよう継続的な支援と就職支援に取り組んできた。個別支援計画に基づき個人の特性に合わせた支援や基本的な社会性や生活習慣を習得できるように心掛け、西三河障害者就業・生活支援センター輪輪による「就労セミナー」や地域の安城警察署福釜駐在所巡査による「防犯講座や交通安全教室」を開催した。出席率は、生活介護 91.2%（前年度86.9%）、就労継続支援B型 97.8%（前年度94.8%）でともに前年に比べ利用率を拡大できた。授産事業の売上高は、約1,940万円（前年比12%減）となり、工賃支給額も一ヶ月平均で就労継続B型は約43,000円、生活介護は約5,300円支給、ともに前年額を下回った。売上げが下がった要因として、長年作業提供を受けていた「ナガイクランプ」の廃業と自主製品の売上げが減ったこと等と思われる。

2月に「施設サービス等に関する利用者アンケート」を実施した。「活動や作業についての満足度」は、「はい」と回答された方が69%でさらにいろいろな工夫をして満足度を上げていきたい。「作業工賃について」は、約半数の方が満足されていない結果となり、今後の課題とする。

また、日中一時支援や相談支援事業を行い、法人利用者以外の方にもサービスを提供できるよう努めてきた。

1. 事業内容

《生活介護》

- (1) 作業をとおして情緒的な安定を図り、利用者の主体性を育んだ。基本的な社会性や生活習慣を習得できるよう心掛けた。また、自主製品（パウンドケーキ）などを豊田自動織機安城工場や万能工業に、毎月1回昼休憩時間を利用して出張販売に、さらに公民館祭りや福祉センターまつり、福祉の店等に販売活動に参加した。
- (2) 講座活動（生け花、音楽療法、創作、書道）で活動の幅を広げることができ、町内文化祭やむくもり美術館など作品を出展して地域交流を図った。
- (3) 看護師による血圧測定など健康管理を行い健康管理に努めた。

《就労継続支援B型事業》

- (1) 個別支援計画に基づき、個人の特性に合わせた支援を行うとともに、主に施設外作業に取り組んだ。昨年度に続き西三河障害就業センターより講師を招き「就労セミナー」を2回開催して就労に向けた意識を利用者に促し支援した。1名（女性）が10月に「喫茶ふう」に就職できた。
- (2) 4月より株式会社金星工業所（和泉町）で企業内実習を開始した。
- (3) 地域駐在所の警察官を講師に招き「生活セミナー」を開催し、交通ルールや社会のルールなどについて勉強会を行った。
- (4) 新たな作業として、杉本商会より新聞販売店の販促商品（安城市指定ゴミ袋）封入作業の軽作業を取り入れた。

2. 年間利用実績

《生活介護》

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数(人) | 男性 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 408 |
| | 女性 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 127 |
| | 計 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 535 |
| 出席率(%) | | 91.2 | 91.2 | 92.4 | 92.4 | 92.7 | 92.3 | 87.4 | 91.5 | 89.3 | 91.2 | 92.1 | 92.3 | 91.2 |

《就労継続支援B型》

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 在籍者数(人) | 男性 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 96 |
| | 女性 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | 64 |
| | 計 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 13 | 13 | 12 | 12 | 12 | 160 |
| 出席率(%) | | 97.7 | 98.7 | 99.3 | 97.8 | 96.9 | 98.4 | 90.7 | 100 | 97.7 | 97.6 | 99.2 | 99.3 | 97.8 |

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 保護者との連携

- (1) 個別支援計画書について、本人・保護者と三者面談や課別懇談を行い、家庭との連携を強化した。
- (2) 保護者会研修では、「成年後見制度について」講師の調整と協力した。
- (3) 恋塚まつりに模擬店出店の協力を得た。

4. 地域との交流

- (1) 赤松保育園児を招待し、じゃが芋掘りを行った。また、町内有志の方ともちつき大会を行って交流をした。
- (2) 赤松町内夏祭りや福祉センター・公民館祭り、市内市外の福祉施設や企業の祭り等に参加し交流を図った。
- (3) 「恋塚まつり」や施設活動に多くのボランティアを受け入れ、交流を図ることができた。
- (4) 安城市特別支援教育推進協議会夏季研修会を受け入れ、施設見学学習をとおして実態・現状を知り、学校での指導に活かす事を目的に、今後学校と福祉施設との連携を深める機会になった(参加教員60名)

5. 年間行事

| 月 | 日 | 施設行事 |
|----|----|---------------------------------|
| 4 | 1 | 入所式 |
| | 12 | 県障害者スポーツ大会(日進市 口論議運動公園) |
| | 16 | 保護者会総会 |
| | | 木下大サーカス鑑賞(22日、23日、25日) |
| 5 | 7 | 健康診断 |
| 6 | 2 | いちご狩り |
| | 7 | 全国障害者スポーツ大会北信越東海ブロック大会(口論議運動公園) |
| | 10 | 赤松保育園とじゃがいも掘り交流会 |
| 7 | 2 | 就労セミナー(講師 西三河障害者就業・生活支援センター輪輪) |
| | 3 | 嘱託医検診(内科) |
| | 7 | 消火訓練 |
| | 8 | 保護者会 |
| | 27 | 赤松町内夏祭り |
| 9 | 13 | 恋塚まつり |
| 10 | 1 | 福祉協会ソフトボール大会(名古屋市守山区 小幡緑地) |
| | 5 | 安城市福祉まつり |
| | 14 | 保護者会 |
| | 16 | 愛知県歯科検診 |
| | 26 | 安城市福祉体育祭 |
| | 29 | 日帰り旅行(1課、2-A) 犬山モンキーパーク |
| 11 | 6 | 日帰り旅行(2-B、2-C) 日本昭和村 |
| | 28 | 嘱託医検診(内科) |
| 12 | 3 | 就労セミナー(講師 西三河障害者就業・生活支援センター輪輪) |
| | 10 | お楽しみ会 / 生活セミナー(講師 安城警察署巡查) |
| | 15 | 福祉コンサート(刈谷市) |
| | 19 | 避難訓練(豊田市防災学習センター) |

| | | | | | |
|-----|-------|--------------------|------|----|------|
| 1 | 5 | 初詣 | | | |
| | 9 | 避難訓練 | | | |
| | 13~18 | ぬくもり美術館(安城市民ギャラリー) | | | |
| | 15 | 成人式 | | | |
| | 17・18 | 赤松町内公民館祭り作品出展 | | | |
| | 20 | 保護者会勉強会 | | | |
| | 21 | 餅つき大会(町内有志の方と) | | | |
| 2 | 6 | 生活セミナー(講師 安城警察署巡查) | | | |
| | 10 | 保護者会 | | | |
| | 20 | 防災訓練(豊田市防災学習センター) | | | |
| 3 | 3 | 赤松保育園ひな祭り会 | | | |
| | 19 | 嘱託医検診(内科) | | | |
| | 25 | ぬくもりアワード | | | |
| | 31 | 避難訓練 | | | |
| 月行事 | 音楽療法 | 生け花 | 創作活動 | 書道 | 体重測定 |
| | 血圧測定 | 外食実習(隔月) | | | |

6. ボランティア受入状況(延べ人)

| 区分 | 計 | 区分 | 計 | 区分 | 計 |
|-----|-----|------|----|-----|-----|
| 一般 | 181 | 民生委員 | 26 | 高校生 | 9 |
| 保護者 | 4 | 生け花 | 24 | 合計 | 244 |

7. 実習生受入状況(延べ人)

| 区分 | 計 | 区分 | 計 | 区分 | 計 |
|------|----|-----|----|------|-----|
| 中学生 | 3 | 大学生 | 79 | 学校教諭 | 5 |
| 養護学校 | 10 | 高校生 | 60 | 合計 | 157 |

8. 施設設備改善

(1) タウンエーストラック、ダイナ(3ton) 廃車→ダイナ(1.5ton) 購入

9. 授産事業

(1) 作業指導のねらい

利用者の適応性に応じた作業の技術習得と将来自活すべき社会性を養うこと。

(2) 資源化センター等安城市との業務委託を継続できた。

(3) 工賃の支給額を作業状況、生活態度、対人関係を総合的に評価し決定した。支給基準の見直しを年2回職員会議にて行った。

10. 作業内容（作業別収入）

《生活介護》

| 取引先 | 売上高（円） | 内 容 |
|-----------------|-----------|-----------------|
| 永井クランプ | 120,960 | 自動車部品の組立 |
| 富士カーボン(株) | 893,200 | 自動車部品の加工 |
| フジイ化工(株) | 80,854 | エコキャップ選別 |
| タクマ産業(有) | 759,262 | 自動車部品(ウレタン)選別 |
| 名鉄百貨店 | 124,309 | 販促商品梱包作業 |
| エディオン | 72,360 | 販促商品ラベル貼り |
| デンソー（株）高棚製作所 | 25,000 | エコキャップパネル作成 |
| アンジョウハーツ（商工会議所） | 75,702 | キャップパネル梱包、商品梱包等 |
| 安城七夕まつり協賛会 | 144,000 | ペットボトル洗浄、処理 |
| 自主製品 | 122,300 | 縫製品製造・販売 |
| 菓子製造(パウンドケーキ) | 748,444 | 菓子の製造・販売 |
| 名刺印刷 | 49,194 | 名刺の印刷 |
| アルミ缶販売（安城貿易） | 21,920 | アルミ缶回収 |
| 西三河セルプ | 96,326 | 委託販売 |
| ユニオンサービス・日本ハム | 214,829 | 委託販売 |
| まるくてワークス商品 | 49,400 | 委託販売（かりんとう、珈琲豆） |
| ナカムラ製菓 | 635,810 | 委託販売（せんべい） |
| 安城市（清掃事業所） | 71,840 | 段ボールコンポスト製造・販売 |
| 安城市（清掃事業所） | 2,187,000 | EMぼかしの製造・配達 |
| 安城市（維持管理課） | 38,000 | リサイクル自転車の清掃 |
| 安城市（こども課） | 123,120 | アサガオ・ゴーヤ苗育成・配達 |
| 農作物 | 19,850 | 農作物の販売 |
| 合 計 | 6,673,680 | |

《就労継続支援B型》

| 取引先 | 売上高（円） | 内 容 |
|-----------------|------------|---------------|
| グレイシャスビラ | 1,211,834 | お風呂、ベランダ掃除 |
| ミカテック | 81,335 | 軽作業 |
| エディオン | 72,001 | 販促商品（ゴミ袋）封入作業 |
| 杉本商会 | 21,400 | 販促商品（ゴミ袋）封入作業 |
| 安城市（清掃事業所） | 10,719,846 | ペットボトル仕分け作業 |
| 安城市（清掃事業所） | 108,840 | ビン選別作業 |
| 安城市（清掃事業所） | 220,000 | EMぼかしの製造・配達 |
| 金星工業所（株） | 228,030 | 施設外実習 |
| アンジョウハーツ（商工会議所） | 62,640 | シール貼り |
| 合 計 | 12,725,926 | |

11. 工賃支給実績

《生活介護》

| | |
|-------------|--------------------|
| 4月～3月工賃支給額計 | 2,835,175円 |
| 1ヶ月平均工賃支給額 | 5,369円（1人当たり・賞与含む） |

《就労継続支援B型》

| | |
|-------------|---------------------|
| 4月～3月工賃支給額計 | 6,855,276円 |
| 1ヶ月平均工賃支給額 | 42,845円（1人当たり・賞与含む） |

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

（1）日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 利用者数 | 5 | 3 | 9 | 22 | 16 | 15 | 11 | 17 | 12 | 11 | 11 | 11 | 143 |

《相談支援事業》

1. 事業内容

(1) 安城市の指定を受けて特定指定相談支援を行った。受給者証更新時や区分更新時に本人や家族、市の調査員、事業所職員と同席してサービス等利用計画を作成した。

2. サービス等利用計画事業実績

| | 法人内 | 法人外 | 計 |
|------|-----|-----|----|
| 利用者数 | 58 | 37 | 95 |

IV. まるくてワークス

《総括》

26年度は生産活動型の生活介護事業所一本で運営を行ってきたが、下請け作業の終了や減少にともない、授産収入もかなり減少傾向となった。今後は利用者の意向も踏まえ、楽しくやりがいの持てる作業の開拓を検討していきたい。26年度より常勤職員全員で新たにまるくてワークスの事業計画の策定をし「基本方針」「重点目標」を設定し遂行した結果、相談支援との連携から利用者の支援区分の見直しと出席率が多少ではあるが上がった。また、外部からの日中一時支援の利用も大幅に伸びた。今後も安定した運営はもとより、利用者満足向上に力を入れていきたい。

1. 事業内容

《生活介護事業》

- (1) サークル活動（スポーツ・レクリエーション及び文化活動）を選択・参加をし、相互交流を図るとともに楽しく健やかに過ごすことができる環境づくりを行った。
- (2) 利用者の主体性を尊重して個別支援計画を作成し、安定した日常生活が営めるよう計画に基づき支援を行った。
- (3) 生産活動や自主製品販売等をとおして得た作業収入を工賃・賞与として支払った。
- (4) 生活・作業環境を改善し、より快適で安全な環境を整えた。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数(人) | 男性 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 28 | 314 |
| | 女性 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 24 | 277 |
| | 計 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 52 | 591 |
| 出席率(%) | | 88.8 | 86.5 | 91.9 | 89.4 | 84.7 | 91.2 | 84.9 | 84.7 | 83.1 | 86.3 | 90.0 | 85.4 | 87.2 |

※1. 在籍者数は初日在籍数

※2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 地域との交流

- (1) 第9回「まるくてBANG! BANG! 夏まつり」を池浦町内会をはじめ、市内関係施設等の協力により開催した。
- (2) 地元町内会行事（敬老会、芸能まつり）や子供会行事に会場として施設を貸与したり、池浦にある天満宮の大祭・納涼まつり・町内清掃に参加をし交流を図った。

4. 保護者との連携

- (1) 3ヶ月毎の保護者会開催 ～ 小野宏ドクターを招いての勉強会
- (2) 年2回の三者面談（モニタリング）をとおして利用者本位の支援の連携強化。

5. 年間行事

| 月 | 日 | 施設行事 | | | | |
|-----|-------|-----------------------|--------|------|------|-------|
| 4 | 1 | 入所式（1名） | | | | |
| | 21 | 木下サーカス | | | | |
| 5 | 8 | 健康診断（半田医師会） | | | | |
| | 28 | 避難訓練 | | | | |
| 6 | 12 | いちご狩り | | | | |
| 7 | 3 | 嘱託医検診（内科） | | | | |
| | 9 | 嘱託医検診（精神科） | | | | |
| | 26 | 第9回まるくてBang!Bang!夏まつり | | | | |
| 9 | 9 | アンサンブル演奏会 | | | | |
| | 10 | 高浜高校体育祭 | | | | |
| | 25 | 避難訓練（消火訓練） | | | | |
| 10 | 2 | 県ソフトボール大会（Bリーグ2位） | | | | |
| | 3 | 日帰り旅行（ラグーナ） | | | | |
| | 26 | 安城市福祉体育祭 | | | | |
| 11 | 5 | 県フットベースボール大会（優勝） | | | | |
| | 13 | 県歯科診療 | | | | |
| | 25 | 嘱託医健診（内科） 予防接種 | | | | |
| | 27 | ぬくぬくふれあいコンサート | | | | |
| 12 | 15 | 名フィルコンサート（刈谷） | | | | |
| | 24・25 | クリスマス会 | | | | |
| 1 | 5 | 初詣 | | | | |
| | 7 | DEPプロレスもちつき&レクリエーション | | | | |
| | 13 | ぬくもり美術館 | | | | |
| | 23・30 | 新年会（ボーリング&焼き肉） | | | | |
| 2 | 3 | 豆まき | | | | |
| | 25 | 嘱託医検診（精神科） | | | | |
| 3 | 31 | 年度末反省会・お別れ会 | | | | |
| 月行事 | | 外食実習 | サークル活動 | 体重測定 | 血圧測定 | 歩行・レク |
| | | カラオケ | | | | |

6. ボランティア受入状況（延べ人）

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 区 分 | 計 |
|---------|-----|-------|----|-------|-----|
| 一 般 | 225 | 中高大学生 | 1 | 専門学校生 | 0 |
| 池浦福祉委員 | 12 | レクボラ | 44 | 民生委員 | 16 |
| 職場体験中学生 | 3 | | | 合 計 | 292 |

7. 実習生受入状況（延べ人）

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 区 分 | 計 |
|-------|----|-------|----|------|-----|
| 専門学校生 | 15 | 大 学 生 | 50 | 学校教諭 | 2 |
| 養護学校 | 12 | 高 校 生 | 60 | 合 計 | 139 |

8. 授産事業

(1) 作業指導のねらい

利用者個々の適応性に応じた作業の技術習得と「はたらく」ことへの喜び・生きがいを持ってもらえるよう支援した。

(2) 工賃の支給額を作業状況、生活態度、対人関係を総合的に評価し決定した。

9. 作業内容（作業別収入）

| 取引先 | 売上高（円） | 内 容 |
|---------------|-----------|-----------------|
| 永井クランプ | 187,920 | 自動車部品の組立 |
| 安城市委託粉石鹼 | 631,800 | 粉石鹼製造 |
| 自主製品販売 | 388,133 | 布草履・マットなど |
| サカキバラコーポレーション | 248,037 | バリ取り |
| 大見工業 | 696,422 | チップソー防錆液添付・箱詰め |
| ケーエス開発 | 408,800 | ロート |
| 安城市清掃事業所 | 275,500 | 土嚢袋 |
| 山田製菓 | 3,238,545 | かりんとう・ドーナツ販売 |
| 増田煙火 | 20,5363 | 花火組み付け |
| 安城市指定ゴミ袋販売 | 659,710 | 燃やせるゴミ袋等 |
| タクマ産業 | 444,871 | ダクトシール貼り・パッキン |
| シン英鋼業 | 8,014 | アルミ缶 |
| 型善 | 20,000 | ノーパンクタイヤ |
| 安城スタイル | 47,443 | 南吉クッキー等 |
| 玩具 | 123,305 | おもちゃ等販売 |
| セルフ | 5,710 | 共同販売 |
| コーヒー豆 | 1,331,173 | 自家焙煎珈琲製造販売 |
| フジイ化工 | 39,456 | ペットボトルキャップ選別 |
| その他 | 11,718 | コミュニティー道路清掃・豚置物 |
| | | |
| | | |
| 合 計 | 9,082,588 | |

10. 工賃支給実績

《生活介護》

4月～3月工賃支給額計 3,064,531円

1ヶ月平均工賃支給額 5,218円/月（1人当たり・賞与）

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

(1) 特別支援学校生や在宅又は就労等している障害者の平日の日中における活動の場を提供し、情緒の安定を図るとともに家族のレスパイトを目的に事業を行った。

2. 年間利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 利用者数 | 6 | 4 | 4 | 6 | 34 | 24 | 30 | 28 | 40 | 26 | 14 | 13 | 229 |

《相談支援事業》

1. 事業内容

(1) 安城市の指定を受けて特定指定相談支援を行った。受給者証更新時や区分更新時に本人や家族、市の調査員、事業所職員と同席してサービス等利用計画を作成した。

2. 年間サービス等利用計画作成者実績（延べ人）

| 事業所名 | 法人内 | 法人外 | 計 |
|------|-----|-----|-----|
| 利用者数 | 45人 | 39人 | 84人 |

V. アットホーム

《基本方針に対する総括》

ホームぬくもりが、開所して10周年を迎えた年であった。10周年記念の食事会を開き、利用者、保護者とその長い年月を振り返る時間を共有した。昔話をしながらの話題で、立ち上げ時や、ホーム生活が始まったころ苦労したことや、嬉しかったことに涙したが、たくさんの人との出会いがあり、基本方針である利用者が築き上げてきた「絆」がその10年を支えてきたことを実感することができた。

チーム支援という点で、バックアップ体制の強化をした。ホーム担当職員の会議を一ヶ月おきにおこないホームの様子や、バックアップの内容共有をした。またPC掲示板を活用し、サビ管からの連絡事項を発信した。

《重点目標に対する総括》

1. 自分らしい暮らしの支援

利用者個人が、自分らしく自由に生活できるように、世話人が利用者に向き合いコミュニケーションを取る中で、本人らしい生活の実現をしてきた。週末金曜日の夕方に、自分たちでおやつ作りをしたいということで、簡単なお菓子レシピを世話人が準備して自分たちで作って一緒に食べることを楽しんだ。また、日頃お世話になっている関係者の人たちへ感謝の気持ちを伝えたいというホームの利用者と世話人が、日中施設の職員にたこ焼きや、手作りお菓子を振る舞うというイベントをおこなった。ちょっとした動機から、すぐに行動に動けるのがホームの良いところである。また、季節ごと旬の食材を提供して、食卓を楽しい場として皆でコミュニケーションを図り笑顔を増やしてきた。各ホーム、利用者と世話人の個性が集まった楽しい環境づくりに取り組んできた。

2. 円滑な運営体制の構築

保護者ニーズの「土日ホーム稼働」について、現場職員が他事業所を見学をして、そのための必要な情報を集めた。今年度土日稼働の第一歩を進めた。

各ホームから日々報告・連絡・相談のメールをサビ管が受け取り、情報を周知し、また必要に応じて、支援関係者と話し合う機会をつくってきた。サビ管側からも各ホームへ、巡回を日々おこない利用者の状況を把握することにつとめた。

3. 人材の確保と育成

世話人の一ヶ月20泊、一週間5泊という勤務を緩和するため、他事業所の情報を基に、今年度から各ホーム2人の世話人が一週間交代で勤務することを進める。スタッフ間で、毎週ミーティングを開催してそのために必要な準備をおこなった。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 在籍数者(人) | 男性 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 173 |
| | 女性 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 41 |
| | 計 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 214 |

3. 住居ホーム（定員 18名）

- (1) めろんぱん （利用者 4名） 安城市柿碓町
- (2) ホームぬくもり （利用者 4名） 安城市大東町
- (3) フルハウス （利用者 5名） 安城市池浦町
- (4) こやまホーム （利用者 5名） 安城市新田町

VI. むくもりの郷

《総括》

むくもりの郷は、利用者の生活を総合的に支援することを目的とした事業所であり、本来別の事業である生活介護事業、共同生活介護事業、短期入所事業、日中一時支援事業が有機的に連携できる仕組みづくりに努めてきた。生活介護事業は、安定して通えるようカリキュラム等の支援内容の工夫に努め、前年比105%の利用があった。

生活介護事業所に限らず他の事業も、支援内容、職員の勤務シフト等も一定の形になってきたと思われ、利用者の増加につながっている。今後はその利用者増加に伴うサービスの質の低下を招かないよう、利用者満足度を常に意識しながら、基本理念に基づいた支援体制の充実をさらに図りたい。

《生活介護事業》

1. 事業内容

(1) 適切な方法により、利用者の有する能力、置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上での適切な支援内容を検討した。

また、利用者の心身の状況、置かれている環境等に照らし、利用者が自立した生活を営むことができるよう定期的に検討するとともに、必要な支援を行った。

家族との連携を強めていくために、年2回の個別面談を実施したり、必要に応じて個別の相談援助・通院支援を行った。

(2) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排泄及び食事の介護、入浴、創作的活動の機会の提供を適切かつ効果的に行うよう努めた。

入浴においては、利用者の健康状態への配慮、利用者・家族の意向を尊重しながら、サービスの提供に努めた。

創作活動においては、10月に障害者アート展（～あいちアール・ブリュット展～）に応募し、1月に市民ギャラリーにて作品展（むくもり美術館）を開催し多くの来場者に作品を見てもらうことで、利用者の創作意欲の向上と自信につなげることができた。

(3) 地域との結び付きを重視し、7月に感謝イベントの開催、地域交流ひろばの営業を通じての地域交流、地元中学生の職場体験を受けるなど交流を輪を拡げるよう努めた。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍者数(人) | 男性 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 139 |
| | 女性 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 72 |
| | 計 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 211 |
| 出席率(%) | | 90.6 | 87.9 | 88.2 | 93.3 | 93.4 | 94.4 | 93.0 | 94.7 | 94.7 | 91.9 | 93.6 | 95.2 | 92.6 |

※ 1. 在籍者数は初日在籍数

※ 2. 出席率は在籍数に対する出席率

3. 年間行事

| 月 | 施 設 行 事 | | | | |
|-----|---|----------|-----------|--------|-------|
| 5 | 健康診断 (13) 潮干狩り (27) | | | | |
| 6 | いちご狩り (6) 歯科検診 (19) あじさい見学 (20) | | | | |
| 7 | 感謝祭 (6) プラネタリウム見学 (25) | | | | |
| 8 | まるや八丁味噌工場見学 (22) | | | | |
| 10 | 芋掘り招待 (29) 日帰り旅行・愛知県陶磁美術館 (31) | | | | |
| 11 | ぬくぬくふれあいコンサート (27) 内科検診・インフルエンザ予防接種 (27) | | | | |
| 12 | 電車乗車体験 (12) 福祉コンサート (15) クリスマス会 (24) | | | | |
| 1 | 新年会・ボウリング・カラオケ (9) ぬくもり美術館 (13~18) | | | | |
| 3 | 内科検診 (12) | | | | |
| 月活動 | 誕生日会 | 外食実習 | チャレンジスポーツ | 3 B 体操 | アート書道 |
| | 音楽 | リラクゼーション | | | |

4. ボランティア受入状況 (延べ人)

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 区 分 | 計 |
|-------|----|---------|---|--------|----|
| 一 般 | 2 | 大学・専門学校 | 4 | サークル講師 | 55 |
| 中 学 生 | 16 | | | 合 計 | 77 |

5. 実習生受入状況 (延べ人)

| 区 分 | 計 | 区 分 | 計 | 合計 |
|---------|-----|---------|----|-----|
| 社会福祉士実習 | 239 | 介護等体験実習 | 30 | 269 |

6. 職員外部研修状況

(1) 目的

- ア. 利用者の自立支援とQOLの向上を担える援助者づくり
- イ. チームワークとリーダーシップを担える援助者づくり
- ウ. 3つの能力「価値・知識・技術」に着目すること

(2) 研修内容

- ・新入社員研修<基本コース> 増田
- ・上手な段取りの基本テクニック 牧
- ・防火管理者資格取得講習 石川
- ・職場環境改善研修 施設長
- ・てんかん基礎講座 宇野
- ・接遇講習会 鈴木
- ・心身ホーム部会職員研究会 蛭原
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修（管理者研修課程） 三浦
- ・高齢者福祉施設評価調査者追加研修会 施設長
- ・普通救命講習 宇野
- ・東海地区知的障害関係施設職員研究協議会 木村
- ・福祉の星フォーラム 戸田
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員研修課程） 牧
- ・日中活動支援部会研修会 蛭原
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者研修課程） 小室
- ・スーパービジョン研修 石川
- ・モチベーションアップ研修 増田
- ・心身ホーム部会施設訪問研究会 宇野
- ・愛知県知的障害者関係施設職員研究大会 林
- ・新入・若手社員フォローアップセミナー 戸田
- ・安城市自立支援協議会主催勉強会 三浦
- ・強度行動障害支援研修 鈴木
- ・東海北陸ブロック社会福祉実習研究大会 林
- ・愛知県サービス管理責任者【地域生活】研修 石川
- ・ソーシャルワーク実習報告会 牧
- ・愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修 三浦
- ・社会福祉法人理事・監事セミナー 稲垣
- ・経営者・役員講座 施設長
- ・日中活動支援部会研修会 林・鈴木
- ・実習教育公開研究会 牧
- ・愛知県強度行動障害支援者養成研修 石川

《共同生活援助事業》

1. 事業内容

- (1) 利用者が自立を目指し、地域において共同生活を営むことができるように個別支

援計画を作成し、それに基づき世話人等より生活する上で苦手な部分（食事や健康管理等）の支援を受け、安心して生活できるよう努めた。

家族との連携を強めていくために、グループホーム屋外で利用者、家族、職員との懇親バーベキューを行い、親交を深めた。

年2回の個別面談を実施し、必要に応じて個別の相談援助・通院支援を行った。また、安城市や他事業所、相談支援事業者と連携を取り総合的なサービス提供に努めた。

- (2) 地域とのつながりを大切にするため、町内会に加入し、町内ふれあい夏まつり、町内運動会、町内一斉清掃、防災訓練等の地域が開催する行事に積極的に参加するなど地域住民と理解を深めるよう努めた。

2. 年間利用実績

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 在籍数者(人) | 男性 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 91 |
| | 女性 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 60 |
| | 計 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 151 |

《短期入所事業》

1. 事業内容

- (1) 居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に対し、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて必要な支援を行った。

主には「家族の入院」「家族の不幸」などの緊急時対応と「将来に向けて宿泊訓練がしたい」という希望、さらには「家族の介護負担の軽減」のニーズがあり、なるべくニーズに応えるよう努めた。26年度は保護者の入院に伴う長期利用のニーズに3件対応した。

- (2) 25年度は10月から土曜日のみ実施したが、26年度は年間を通して土曜日・日曜日とも実施をし、前年比417%の利用があった。
- (3) グループホームとの併設型であるため、グループホーム利用者の生活の安定を優先し、受け入れも安全面を十分に配慮するように努めた。
- (4) 利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスの提供を行うことができるよう、事前に施設への訪問等を行い利用者の状況を把握に努めた。

2. 利用実績（延べ人）

| 事業所名 | ぬくもりの家 | ぬくもりワークス | まるくてワークス | ぬくもりの郷 | 一般 | 計 |
|------|--------|----------|----------|--------|----|-----|
| 利用者数 | 182 | 109 | 75 | 49 | 2 | 417 |

《日中一時支援事業》

1. 事業内容

- (1) 日中における活動の場を確保し、利用者の情緒安定を図ると共に、家族のレスパイトを目的に事業を行った。
- (2) 25年度は7月から土曜日のみ実施したが、26年度はグループホームの将来的な365日体制に向け、年間を通して土曜日・日曜日とも実施をし、前年比230%増の利用があった。引き続き、利用者ニーズの把握、職員間の連携、支援体制の確立に努めていく。

2 利用実績（延べ人）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 利用者数 | 84 | 101 | 117 | 115 | 175 | 134 | 123 | 141 | 156 | 120 | 139 | 131 | 1,536 |